令和7年度

児童発達支援事業所における自己評価結果

COMPASS 発達支援センター樟葉

討議日：令和７年 10 月 10 日
公表日：令和８年　４月　７日

		チェック項目	はい	いいえ	工夫している点	課題や改善すべき点
環境・体制整備	1	利用定員が発達支援室等のスペースとの関係で適切であるか。	8		法令に適した広さを確保し、整理整頓を心がけながら、その日の利用児童に応じて臨機応変な空間対応ができるよう職員で日々話し合いをおこなっております。	今後も適切なスペースの確保と環境整備に努めてまいります。
	2	利用定員やこどもの状態等に対して職員の配置数は適切であるか。	8		基準配置を上回る職員数を確保し、児童の成長に応じてマンツーマン療育も実施しております。療育に携わる職員は全員有資格者です。	今後も適切な人員配置を維持し、安定した運営に努めてまいります。
	3	生活空間は、こどもにわかりやすく構造化された環境になっているか。また、事業所の設備等は、障害の特性に応じ、バリアフリー化や情報伝達等、環境上の配慮が適切になされているか。	8		児童の特性や状況に応じた環境作りについて職員で話し合いをおこない、日々、整理整頓・定期的な見直し改善に努めています。 構造的に段差は少なく、概ねバリアフリーになっております。	今後とも児童一人ひとりの特性に応じた環境づくりを心がけてまいります。
	4	生活空間は、清潔で、心地よく過ごせる環境になっているか。 また、こども達の活動に合わせた空間となっているか。	8		定期的に室内の換気をおこない、療育終了後は使用教材の整理整頓、室内の清掃除菌を実施し、清潔を保っています。 また、活動空間は日々検討し、利用児童に合った環境設定に努めています。	今後も児童の状況に応じた環境づくりを心がけてまいります。
	5	必要に応じて、こどもが個別の部屋や場所を使用することが認められる環境になっているか。	8		児童の特性や体調、情緒に合わせて適切な部屋を使用し、支援をおこなっております。	今後も児童の状況に応じた環境づくりを心がけてまいります。
業務改善	6	業務改善を進めるための PDCA サイクル(目標設定と振り返り)に、広く職員が参画しているか。	8		毎日、サービス提供前に職員が集まり支援について話し合う時間を設けています。 定期的な評価や課題分析を通じ、共通理解の促進に努めております。	今後もPDCAサイクルによる業務改善に職員全員で取り組んでまいります。
	7	保護者向け評価表により、保護者等の意向等を把握する機会を設けており、その内容を業務改善につなげているか。	8		毎年のアンケート結果をもとに保護者様のご意向を把握し、職員で情報共有をおこない、業務改善に活かしております。	今後も保護者様のご意見を把握し、業務改善に反映してまいります。
	8	職員の意見等を把握する機会を設けており、その内容を業務改善につなげているか。	8		毎日職員で打ち合わせをおこない、職員の意見や疑問を話し合い、必要な業務については見直し等をおこなっています。	今後も職員全員で業務改善に努めてまいります。
	9	第三者による外部評価を行い、評価結果を業務改善につなげているか。		8	現時点では第三者評価は実施できておりません。	第三者による外部評価については今後の課題として検討してまいります。
	10	職員の資質の向上を図るために、研修を受講する機会や法人内等で研修を開催する機会が確保されているか。	8		本社配信の動画研修や事業所研修、社内療育研修などを定期的に実施しております。	今後も定期的な研修をおこない、職員の資質向上を図ってまいります。
適切な支援の提供	11	適切に支援プログラムが作成、公表されているか。	8		公式Webサイトにて公表しております。	今後も公式のWebサイトにて公表してまいります。
	12	個々のこどもに対してアセスメントを適切に行い、こどもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上で、児童発達支援計画を作成しているか。	8		定期的な保護者様との面談により作成前にアセスメントをおこない、児童の状況や成長・課題を確認し、支援計画に反映しています。	今後も適切な手順を踏み、支援計画の作成に努めてまいります。
	13	児童発達支援計画を作成する際には、児童発達支援管理責任者だけでなく、こどもの支援に関わる職員が共通理解の下で、こどもの最善の利益を考慮した検討が行われているか。	8		面談・アセスメントにて保護者様のニーズ聞き取りや課題を明確に捉えた後、職員周知のうえで意見を出し合い客観的に分析し支援計画が作成されております。	今後も全職員の共通理解のもと、支援計画を作成してまいります。
	14	児童発達支援計画が職員間に共有され、計画に沿った支援が行われているか。	8		支援計画の内容は職員全体に周知し、目標に沿った支援を設定しています。 毎日職員全体で話し合い、日々の支援内容を設定しております。	今後も全職員の共通理解をもとに、計画に沿った支援を実施してまいります。
	15	こどもの適応行動の状況を、標準化されたツールを用いたフォーマルなアセスメントや、日々の行動観察なども含むインフォーマルなアセスメントを使用する等により確認しているか。	8		モニタリングでは、標準化されたチェックシートを用いてアセスメントを実施し、聞き取りを通じて情報を集め、児童の特徴や状況を把握しております。	今後も標準化されたチェックシートを用いて児童の把握に努めてまいります。
	16	児童発達支援計画には、児童発達支援ガイドラインの「児童発達支援の提供すべき支援」の「本人支援」、「家族支援」、「移行支援」及び「地域支援・地域連携」のねらい及び支援内容も踏まえながら、こどもの支援に必要な項目が適切に設定され、その上で、具体的な支援内容が設定されているか。	8		五領域を設定し、利用児童の特性に合わせ、課題、ねらい等を踏まえたうえで、具体的支援内容を設定しています。	今後もガイドラインに沿って個別に応じた支援計画を策定し、保護者様に分かりやすい支援内容の提供に努めてまいります。
	17	活動プログラムの立案をチームで行っているか。	8		支援計画をもとに、チームで立案・役割分担し、協力して支援をおこなっております。 立案内容は、日々の話し合いで見直し、より良い支援の提供に努めております。	今後もより良い支援の提供に向け、チームでの立案に努めてまいります。
	18	活動プログラムが固定化しないよう工夫しているか。	8		季節を取り入れた制作や行事、個別療育以外の小集団療育等、利用児童の状況に合わせた日々の活動プログラムを提供しております。 系列事業所との情報交換や専門職の手法等、多彩な趣向を凝らした支援をおこなっております。	今後も活動が固定化しないよう個別に応じた支援をおこない、保護者様への伝達にも配慮してまいります。
	19	こどもの状況に応じて、個別活動と集団活動を適宜組み合わせて児童発達支援計画を作成し、支援が行われているか。	8		計画に基づき個々の発達段階に応じて、個別活動と集団活動を組み合わせて対応しております。 PDCA サイクルに基づいた確認も怠らないようにしております。	今後も適切な支援計画の作成に努めてまいります。
	20	支援開始前には職員間で必ず打合せを行い、その日行われる支援の内容や役割分担について確認し、チームで連携して支援を行っているか。	8		毎日職員で打ち合わせをおこない、職員配置や環境設定をおこなっております。 その日の担当児童のみならず、利用児童全員に対して共通理解と支援にあたることができるよう情報共有に努めております。	今後も支援にあたり重要な時間と捉え、情報共有と認識の統一に努めてまいります。
	21	支援終了後には、職員間で必ず打合せを行い、その日行われた支援の振り返りを行い､気付いた点等を共有しているか。	8		一人ひとりのその日の支援に対し、成功点・工夫点・気になる点などを出し合い、次回利用時の支援に繋げています。 伝え漏れのないよう、職員連絡帳等で後日も共有できるようにしています。	今後も支援における大切な時間として位置づけ、情報共有と理解の一致を図ってまいります。
	22	日々の支援に関して記録をとることを徹底し、支援の検証・改善につなげているか。	8		日々の療育内容・体調・生活状況の気づきも記録し、職員間および保護者様と共有しています。 また、共有した内容をもとに話し合いをおこない支援改善に繋げております。	今後も適切で丁寧な記録に努め、検証・改善に活かしてまいります。
	23	定期的にモニタリングを行い、児童発達支援計画の見直しの必要性を判断し、適切な見直しを行っているか。	8		定期的なモニタリングや、保護者様からの相談・日々の会話をもとにご要望を取り入れながら、児童の状況把握や見直しの必要性を検討しています。	今後も児童の状況を明確に保護者様にお伝えし、モニタリングと計画見直しが適時おこなえるよう努めています。
関係機関や保護者との連携	24	障害児相談支援事業所のサービス担当者会議や関係機関との会議に、そのこどもの状況をよく理解した者が参画しているか。	8		相談支援事業所が機能していないケースもあり、セルフプランで受給者証を取得されている方が多いため、担当者会議は少ないですが、状況に精通した職員が参画し、必要に応じて関係機関との情報共有に努めております。	今後も児童発達支援管理責任者を中心に、職員全体で児童の状況把握と支援に努めてまいります。
	25	地域の保健、医療（主治医や協力医療機関等）、障害福祉、保育、教育等の関係機関と連携して支援を行う体制を整えているか。	8		必要に応じて子ども発達支援センターや保育園・幼稚園・小学校と連携しております。 送迎時に園の先生方とお話しすることもあり、関係機関連携を図って支援をおこなっております。	今後も関係機関との連携を大切にしながら支援をおこなってまいります。
	26	併行利用や移行に向けた支援を行うなど、インクルージョン推進の観点から支援を行っているか。また、その際、保育所や認定こども園、幼稚園、特別支援学校(幼稚部)等との間で、支援内容等の情報共有と相互理解を図っているか。	8		保護者様を通じて情報を発信し、必要に応じて関係機関の先生方と連携をとっております。	今後とも関係機関と連携し、支援に関する情報共有と相互理解に努めてまいります。
	27	就学時の移行の際には、小学校や特別支援学校(小学部)との間で、支援内容等の情報共有と相互理解を図っているか。	8		保護者様を通じて情報を発信し、必要に応じて関係機関の先生方と連携をとっております。	今後も関係機関と連携し、支援に関する共有と相互理解に努めてまいります。
	28	（28～30は、センターのみ回答） 地域の他の児童発達支援センターや障害児通所支援事業所等と連携を図り、地域全体の質の向上に資する取組等を行っているか。				
	29	質の向上を図るため、積極的に専門家や専門機関等から助言を受けたり、職員を外部研修に参加させているか。				
	30	(自立支援)協議会こども部会や地域の子ども・子育て会議等へ積極的に参加しているか。				
	31	（31は、事業所のみ回答） 地域の児童発達支援センターとの連携を図り、必要に応じてスーパーバイズや助言等を受ける機会を設けているか。		8	感染予防対策以降、外部研修等への参加は控えております。	今後は感染予防に配慮しながら、参加を検討・実施してまいります。
	32	保育所や認定こども園、幼稚園等との交流や、地域の中で他のこどもと活動する機会があるか。		8	感染予防対策以降、外部での活動や参加は控えております。	今後は感染予防や個々のニーズ、保護者様のご意向も考慮し、参加を検討・実施してまいります。
	33	日頃からこどもの状況を保護者と伝え合い、こどもの発達の状況や課題について共通理解を持っているか。	8		送迎時や家族支援でご自宅の様子等をおうかがいしながら適切な助言に努めています。 また、こちらからの気づいた点をお伝えすることで状況や課題が明確になり共通理解に繋がっています。	今後も保護者様との日常的な会話を大切にし、気軽にご相談いただける信頼関係づくりに努めてまいります。
	34	家族の対応力の向上を図る観点から、家族に対して家族支援プログラム(ペアレント・トレーニング等)や家族等の参加できる研修の機会や情報提供等を行っているか。		8	感染予防対策以降、研修等の開催は控えさせていただいております。 今後は、感染予防も考えながらの開催を検討実施してまいります。	今後は感染予防や個々のニーズ、保護者様のご意向も踏まえて、開催を検討・実施してまいります。
保護者への説明等	35	運営規程、支援プログラム、利用者負担等について丁寧な説明を行っているか。	8		契約時に運営規定、利用者負担等について丁寧な説明に努めてまいります。 また質問やご不明な点がないかなど確認をしながら進めております。	今後も丁寧な説明に努めてまいります。
	36	児童発達支援計画を作成する際には、こどもや保護者の意思の尊重、こどもの最善の利益の優先考慮の観点を踏まえて、こどもや家族の意向を確認する機会を設けているか 。	8		面談・アセスメントにて保護者様のニーズや課題を把握後、職員で共有・意見交換し、客観的に分析して支援計画を作成しております。 計画の見直しは、ご要望にお応えし、その都度おこなうことが可能です。	今後も児童の状況や発達に応じた支援計画を作成し、丁寧な説明を心がけ、ご理解と同意を得られるよう努めてまいります。
	37	「児童発達支援計画」を示しながら支援内容の説明を行い、保護者から児童発達支援計画の同意を得ているか。	8		保護者様とのお話の中でガイドラインに沿った支援計画を立て、その計画に対して、ご意向・課題に相違がないか確認しながら充分な説明のうえ同意を得ております。	今後も児童の状況や発達に応じた支援計画を作成し、丁寧な説明を心がけ、ご理解と同意を得られるよう努めてまいります。
	38	定期的に、家族等からの子育ての悩み等に対する相談に適切に応じ、面談や必要な助言と支援を行っているか。	8		送迎や家族支援で自宅等の様子をおうかがいしながら適切な助言に努めています。 また、適時面談をさせていただいております。	今後も保護者様との日常的な会話を大切にし、気軽にご相談いただける信頼関係づくりに努めてまいります。
	39	父母の会の活動を支援することや、保護者会等を開催する等により、保護者同士で交流する機会を設ける等の支援をしているか。また、きょうだい同士で交流する機会を設ける等の支援をしているか。		8	感染拡大予防以降、保護者様の就業の状況の観点から開催は控えさせていただいています。 今後は、保護者様のご意向等をふまえながら必要時開催への検討をしてまいります。	今後は保護者様のご意向をふまえ、必要に応じて開催の検討をおこなってまいります。
	40	こどもや保護者からの相談や申入れについて、対応の体制を整備するとともに、こどもや保護者に周知し、相談や申入れがあった場合に迅速かつ適切に対応しているか。	8		保護者様からの申し入れやご相談に対しては、職員全体に周知し、状況説明と可能な範囲での対応を伝え、その後、迅速かつ適切な対応を心がけております。	今後も誠実かつ迅速な対応を心がけ、相談しやすく信頼できる事業所を目指してまいります。
	41	定期的に通信等を発行することや、HPやSNS等を活用することにより、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報をこどもや保護者に対して発信しているか。	8		季節ごとのCOMPASSだよりや毎月の事業所だよりをアプリにて掲載しております。 また、公式Webサイトにて活動内容や児童の成長について報告しております。	今後もより内容を充実させ、継続的な情報発信に努めてまいります。
	42	個人情報の取扱いに十分留意しているか。	8		個人情報を記載した書類は鍵付き書庫等で保管管理をおこなっております。 掲載等に関してもその都度確認し、保護者様の同意を得たうえで慎重に取り扱っております。	引き続き個人情報の慎重な取り扱いと厳重な保管を徹底し、職員全体で情報管理の意識向上に努めてまいります。
	43	障害のあるこどもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮をしているか。	8		口頭だけでなく、書面や提示物等のできうる限りの手段を活用して情報伝達に配慮し、保護者様に分かりやすいご説明を心がけております。	今後も一つの方法にこだわらず改善を重ねより良い意思疎通と情報伝達手段の拡充に配慮してまいります。
	44	事業所の行事に地域住民を招待する等、地域に開かれた事業運営を図っているか。		8	感染拡大防止・個人情報保護の観点から地域交流は控えさせていただいております。	保護者様のご意向に応じ、利用児童の安全を第一に考え、可能な範囲での取り組みを検討してまいります。
非常時等の対応	45	事故防止マニュアル、緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアル等を策定し、職員や家族等に周知するとともに、発生を想定した訓練を実施しているか。	8		各種マニュアルを策定し、見やすい場所に掲示しております。 感染症対応については流行時期に合わせ、対応方法のシュミレーションをおこない、防災訓練については定期的にさまざまな状況を想定した訓練を実施しております。	今後も職員による周知と訓練を継続し、マニュアルの定期的な見直しと共有に努めてまいります。
	46	業務継続計画（BCP）を策定するとともに、非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練を行っているか。	8		業務継続計画（BCP）を策定し、定期的に地震、火災等を想定した訓練を実施しております。	今後も定期的に異なる想定で避難訓練を実施し、突発時の職員対応力向上と災害への備えに努めてまいります。
	47	事前に、服薬や予防接種、てんかん発作等のこどもの状況を確認しているか。	8		アセスメントやモニタリング時に必要な情報を詳細に把握し、全職員に通知しております。	今後も児童の状況確認と的確な対応の為、定期的な保護者様への聞き取りと職員全体での理解の一致に努めてまいります。
	48	食物アレルギーのあるこどもについて、医師の指示書に基づく対応がされているか。		8	アセスメント時にアレルギー調査について話をさせていただき、全職員で情報を共有し、対応しております。	
	49	安全計画を作成し、安全管理に必要な研修や訓練、その他必要な措置を講じる等、安全管理が十分された中で支援が行われているか。	8		ガイドラインに基づいて、安全計画を作成し、定期的に研修、訓練を実施し、安全管理について全職員共通理解のもと支援をおこなっております。	今後も継続的な実施と見直しを通じて、安全管理に努めてまいります。
	50	こどもの安全確保に関して、家族等との連携が図られるよう、安全計画に基づく取組内容について、家族等へ周知しているか。	8		安全計画及び安全に関する取り組みの内容について公式webサイトやお知らせなどに掲示しております。	今後も突発時に備え、職員の対応力向上に向けた定期的な取り組みをおこなってまいります。
	51	ヒヤリハットを事業所内で共有し、再発防止に向けた方策について検討をしているか。	8		ヒヤリハット報告書の作成、保管をおこない、再発防止に努めております。	今後も危機回避と予防のために記録を継続し、事故防止に努めてまいります。
	52	虐待を防止するため、職員の研修機会を確保する等、適切な対応をしているか。	8		毎年社内開催される研修に参加し、内容を職員間で情報共有し、虐待防止マニュアルに沿って実施しております。	今後も研修時に限らず、職員間の話し合いや対応方法の確認を通じて研修機会を増やし、継続的な虐待防止に努めてまいります。
	53	どのような場合にやむを得ず身体拘束を行うかについて、組織的に決定し、こどもや保護者に事前に十分に説明し了解を得た上で、児童発達支援計画に記載しているか。	8		利用契約書では身体拘束の禁止を記載しており、生命または身体を保護するためにやむを得ず身体拘束をおこなわなければならない場合は保護者様の了解を得ております。	身体拘束の必要性については随時検討を重ね、やむを得ず実施する場合も早期の改善に努め、保護者様に丁寧な説明と報告をおこなってまいります。